

令和5年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる  
「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

令和6年4月1日現在

研究課題名	なぜロシアに民主主義が根づかなかったのか——30年間の世論調査をもとに	
申請者	氏名	所属機関・職
	松本 かおり	神戸国際大学・教授

## 研究成果の概要

貴学図書館で所蔵されている Dataset with historical data of approval ratings and socio-demographic questions / Levada Center のデータについては、プーチン支持の世論に限定されていたため、報告者の研究で現在のところ直接的に利用することはなかったが、データの入手方法や経路などを知ることができ、今後研究方法を広げることができる可能性につなげることができた。

貴学の書籍（世論調査機関の研究者が執筆したものなど）・雑誌文献（Europe-Asia Studies, Problems of Post-Communism など）は、ロシア国内でロシア人の意識調査が難しくなった中で勤務校にはない文献から新たな知見を知る機会を与えてくれた。また制限されてしまっている研究方法を別の切り口に変更するためのアイデアを与えてくれた。その結果、2024年3月に科学研究費補助金基盤研究（B）にてウズベキスタンに出張し、当地に在住するレロカント（ロシアから出国・移住しているロシア人）に対するインタビューを実施することができた。この結果については後日論文などでまとめる予定である。

今年度投稿した論文についても、貴学で収集した資料を活用し、執筆することができた。

ウズベキスタンでのインフォーマントの中には、4年で交代できる政府が誕生し汚職などがなくなること、民主的な政治が行われることなどを、帰国の条件に挙げる者もいた。30年の世論調査における民主主義を求める声（求めない声）を紐解きつつも、報告者が調査している今日のロシア人の意識にそれらがどのような影響を与えているか、引き続き研究を続けていきたいと考える。

最後になりましたが、貴学の共同利用型研究による報告者への支援に篤く感謝申し上げます。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

「レロカント——ウクライナ侵攻とプーチンの国から脱出する人々」『ロシア・ユーラシアの社会』受理済み・掲載号の確認中、謝辞あり

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）  
科学研究費補助金基盤研究（C）（応募予定）

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。